

平成 × 令和

藤岡市30年のあゆみ

第2弾となる本号は、市民の皆さんと共に歩んできた藤岡市の30年の中でも、市民一丸となった取り組みや協力して乗り越えたできごとなどを中心に振り返ります。

平成26年 高山社跡世界文化遺産登録

高山社を考える会(当時)をはじめ、多くの市民団体の協力により、高山社跡は世界文化遺産に登録されました。

審議が行われた平成26年6月21日には高山社跡特設会場でパブリックビューイングが行われ、約250人の関係者や市民が登録決定の瞬間を見守りました。



- 郷土を愛する子どもの育成
平成25年から始まった高山社会学では市内小中学校の児童・生徒が地域の伝統産業であった養蚕の歴史や高山社の歴史的価値を学び、郷土を誇りに思い、郷土を愛するための取り組みを進めています。



平成18年 新生「藤岡市」の誕生



平成18年1月1日に藤岡市と鬼石町が合併して新生「藤岡市」が誕生しました。誕生を記念して、2月11日には「藤岡市・鬼石町合併記念式典」がみかぼみらい館で開催され、市民など約800人が参加し、藤岡市の新たな門出を祝いました。



受け継がれる伝統文化

天保12年に始められたと伝わる御荷鉾山不動尊の獅子舞。三嶋神社の秋季例大祭の前夜祭である三嶋様の夜祭り。五穀豊穰・天下太平を願い、流鏝馬などが奉納される土師神社の秋祭り。多くの伝統文化が地域の皆さんによって守られてきました。



平成26年 雪害からの再建

平成26年2月14日、低気圧の接近・通過により市街地では積雪約70cmを記録し、ビニールハウスの倒壊や停電などの大きな被害を受けました。

市では農協と協力して、合同相談窓口を開設し、被害状況の把握・迅速な支援対策を行い、早期の再建につなげました。



手厚い助成で住みよい藤岡市



藤岡市では平成11年に4歳未満の外来入院費用無料を皮切りに、群馬県内では先進的な助成を行ってきました。また現在においても全国トップレベルの福祉医療費助成を行っています。今後も市民の皆さんが住みよい藤岡市を目指してまいります。

平成11年 オウム退去運動

平成11年8月16日、オウム真理教(当時)信者の転入届提出に始まり、翌年1月31日に信者が全員退去したオウム問題は、市民一丸となった退去運動と市民の活動を背景にした司法手続きにより、信者の退去が早期に実現しました。

